

小泉元首相 が政治主導で原発のない社会をと訴える

2015年 3月11日 17時46分

小泉元総理大臣は福島県喜多方市で講演し、原発の再稼働を進める政府の方針を批判したうえで、政治主導で原発のない社会を実現すべきだという考えを重ねて示しました。

この中で小泉元総理大臣は、福島原発事故に関連して、

「事故から4年たったが、原因究明がきちんとされず、汚染水も『コントロールされている』と誰かが言っていたが、全然されていない。

政府は『日本の安全基準は世界でいちばん厳しい』と言うが、ほかの国より何が厳しく安全なのか説明しておらず、それで再稼働しようということにあきれている」

と述べ、原発の再稼働を進める政府の方針を批判しました。

そのうえで、小泉氏は、今後のエネルギー政策について、

「政治が『原発ゼロ』にかじを切れば、必ず自然エネルギーで経済成長できる国になる。実現可能な大きな目標が原発ゼロの社会だ」

と述べ、政治主導で原発のない社会を実現すべきだという考えを重ねて示しました。

小泉氏は、講演のあと記者団に対し、

「安倍総理大臣が『原発ゼロ』にしようと言えば、自民党の多数は協力するし、野党も協力する。一国の指導者として、自然エネルギー大国を実現する環境が整っていないながら、やらないのは、もったいない」

と指摘しました。